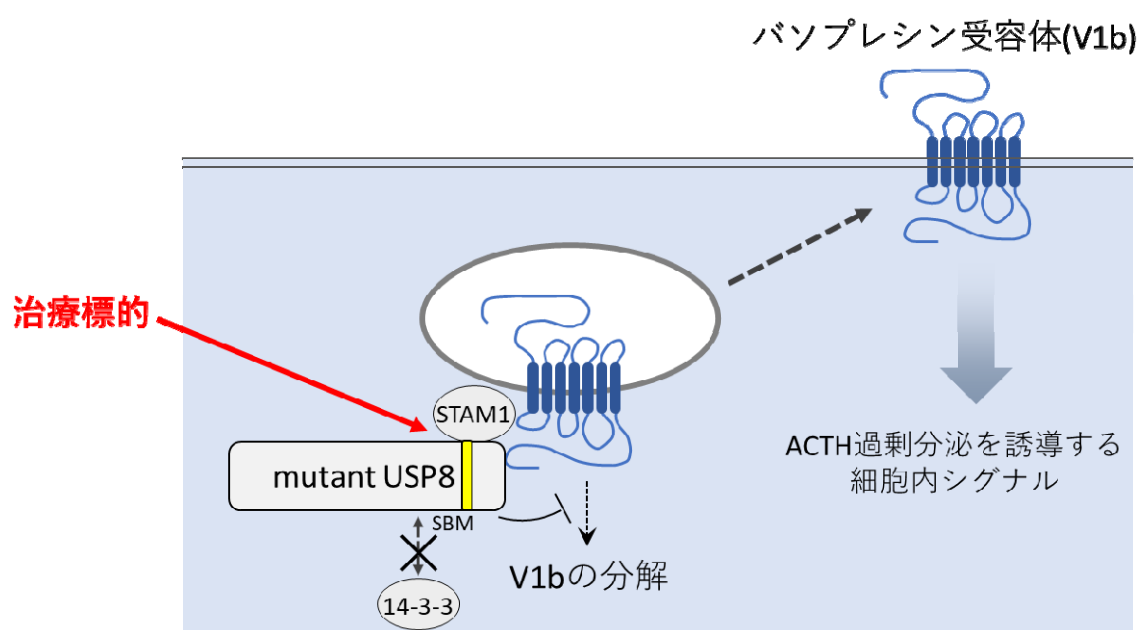


## 新技術の概要

**クッシング病の特異的な治療剤**のスクリーニング方法を提供

クッシング病の発症メカニズム解析を行い、変異型USP8とSTAM1の相互作用を阻害する化合物がクッシング病の特異的な治療剤になる可能性があることを見出し、**変異型USP8とSTAM1の結合量を測定するクッシング病治療剤のスクリーニング方法を確立**した。



変異型USP8はSTAM1と結合できるようになり、STAM1を介してV1bと相互作用する。その結果、変異型USP8はV1bを脱ユビキチン化して安定化する。これによりACTH分泌誘導シグナルが増強する。→クッシング病が発症する可能性

**変異型USP8とSTAM1の相互作用を阻害する化合物はクッシング病の治療薬になる可能性がある**

## 本技術のアピールポイント

- **特異的な治療剤の開発が可能**



Tokyo Tech

お問い合わせ先：  
東京工業大学 研究・産学連携本部  
E-mail: thioki@sangaku.titech.ac.jp  
TEL: 045-924-5171 URA 日置 孝徳

## 用途分野

- クッシング病の治療剤

## 特許情報

発明の名称 クッシング病治療剤のスクリーニング方法  
発明者 福嶋 俊明  
出願人 国立大学法人東京工業大学  
出願 特願2018-244180 (出願日:2018/12/27)  
公開 未公開  
本学整理番号 18T105